
第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会

プログラム・講演要旨集

平成 26 年 8 月 29 日（金）～30 日（土）

札幌医科大学 医学部 臨床教育研究棟講堂

目次

第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会開催にあたって.....	2
開催概要.....	3
会場案内.....	4
参加者へのご案内.....	6
第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会プログラム.....	7
特別講演.....	13
教育講演.....	13
一般演題.....	13

第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会開催にあたって

このたび、平成 26 年 8 月 29 日(金)、30 日(土)の両日にわたり第 81 回の日本細菌学会北海道支部学術総会を札幌市の札幌医科大学で開催させていただきます。昨年の網走、一昨年 of 帯広での開催、さらには IUMS2011 開催による学術総会開催の見送り、2010 年の日本クラミジア研究会との合同開催などがあり、札幌の地で通常の学術総会が開催されるのは実に 5 年ぶりのことでもあります。この 5 年の間に北海道支部の学術総会は質、量ともに見違えるほど進化してきたように思えます。これも現北海道支部長の山口博之先生をはじめとして会員各位の努力の賜物と思っています。これまで札幌開催時は土曜日一日で全プログラムを実施していました。しかしながら宿泊を伴う遠方からの参加者の便、そして何よりプログラムが 1 日では消化しきれなくなっていることから、今回は札幌でも 2 日間にわたって開催してみることにいたしました。

学術総会長の欲張りな性格もあって、多種多様な企画を準備いたしました。特別講演として、医薬品開発と知的財産について公益財団法人がん研究会の内海潤先生、細菌感染におけるインフラマゾームについて琉球大学の鈴木敏彦先生、肺炎マイコプラズマについて札幌徳洲会病院の成田光生先生にご講演いただきます。また、教育講演としてバイオリスク管理について国立感染症研究所の伊木繁雄先生、生細胞蛍光イメージングについて北海道大学の北村朗先生にお願いしています。いろいろなもの見方、考え方に触れていただいて明日からの研究等々のお役に立てていただければ幸いです。

日本細菌学会では会員数の減少が進み、学会として何らかの手を打っていかうという動きがあります。北海道支部は総会員数は少ないながら、一般演題は事務局からの積極的なお願いがなくてもプログラム作成に苦勞するぐらいたくさんの数が集まります。それだけ支部会員の皆様のアクティビティーとモチベーションが高いのだと思います。今後も本支部が若い方々をはじめとして皆様の重要なプラットフォームとして機能し、細菌学会全体の活性化につながってほしいと思っています。

平成 26 年 8 月

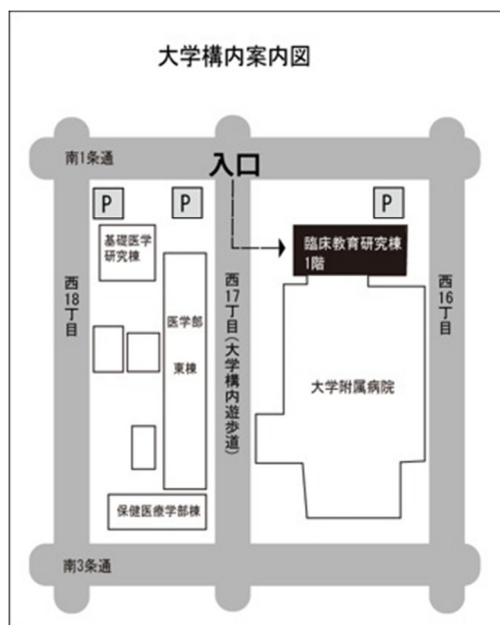
第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会長
札幌医科大学医学部微生物学講座
横田 伸一

開催概要

総会長	横田 伸一	札幌医科大学 医学部 微生物学講座 教授
事務局	山本 聡	札幌医科大学 医学部 微生物学講座 助教
	小笠原 徳子	札幌医科大学 医学部 微生物学講座 助教
	白石 宗	札幌医科大学 医学部 微生物学講座 助教
会期	平成 26 年 8 月 29 日(金)～30 日(土)	
会場	札幌医科大学 医学部 臨床教育研究棟 1 階講堂 〒060-8543 札幌市中央区南 1 条西 16 丁目 291 番地 TEL : 011-611-2111 (内線 2712) (事務局)	
幹事評議員会	8 月 30 日(土) 12:00～	
総会	8 月 30 日(土) 14:00～	
懇親会	8 月 29 日(金) 18:30～ 札幌医科大学附属病院食堂 (地下 1 階)	

会場案内

札幌医科大学 医学部 臨床教育研究棟 1階講堂
 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目291番地
 TEL: 011-611-2111 (内線 2712) (事務局)



懇親会会場
 札幌医科大学附属病院食堂 (地下1階)

交通案内

地下鉄をご利用の場合

- ・ 最寄り駅 : 東西線西 18 丁目駅
- ・ 経路 : 札幌駅・大通駅からお越しの方
南北線さっぽろ駅(JR 札幌駅直結)から大通駅(2分)
大通駅で東西線宮の沢行に乗換え西 18 丁目駅(4分)下車
西 18 丁目駅 6 番出口から徒歩 5 分

市電をご利用の場合

- ・ 最寄り駅 : 西 15 丁目駅
- ・ 経路 : 西 4 丁目駅から西 15 丁目駅(12分)下車
西 15 丁目駅から徒歩 2 分

バスをご利用の場合

- ・ 最寄りバス停 : 医大病院前
- ・ 経路 : 札幌駅(バスターミナル)からお越しの方
札幌駅バスターミナル 7 番のりばから JR 北海道バス(啓明線【51】)医大病院前(10分)下車
桑園駅からお越しの方
桑園駅(駅前ロータリー)から JR 北海道バス(桑園円山線【桑 11】)医大病院前(6分)下車

参加者へのご案内

1. 参加受付

受付時間： 8月29日(金) 12:00～, 8月30日(土) 8:00～

受付場所： 札幌医科大学 臨床教育研究棟 1階 講堂入口前

参加費： 1,000 円 (但し、学生は無料)

※ 支部会のみに入会されている方、または新たに支部会のみに入会される方は、当日支部会年会費 1,000 円を受付にて申し受けます。

※ 要旨集は当日受付にて1部 500 円で頒布致します。会員の方は事前にお送りしたものをお持ちください。

懇親会費： 2,000 円 (但し、学生は1,000 円)

2. 一般演題

座長の先生へ

発表時間は、発表 7 分、質疑 2 分です。時間厳守でお願い致します。

演者の先生へ

発表は Power Point でお願い致します。発表時間は、発表 7 分、質疑 2 分です。発表用のパソコン環境は、Windows 7 で Power Point 2010 が標準となっております。この環境での動作確認を事前にお願ひ致します。Mac をご使用になる場合、もしくは不都合がある場合には、前もって事務局にご相談ください。発表は座長の先生の指示に従って下さい。

3. 日本細菌学会北海道支部会賞選考要領

本学術総会では、一般演題より最優秀発表者(1名)と優秀発表者(2名)の表彰を行います。対象は、学生、ポスドク、助教となります。選出は参加者全員の投票によって行われます。当日配布された投票用紙に対象演題一覧を記載しておりますので、一般演題終了後、投票用紙に評価結果を御記入頂き、会場の投票箱に投函して下さい。

4. その他

構内すべて禁煙となっておりますのでご協力をお願い申し上げます。

第 81 回日本細菌学会北海道支部学術総会プログラム

第 1 日目 : 8 月 29 日 (金)

13:00～ 開会の辞

13:05～ 特別講演 1 座長: 田村 豊 (酪農学園大学 獣医学部)

マイクロとマクロの視点から特殊な微生物・肺炎マイコプラズマの実像に迫る

成田 光生 先生 (札幌徳洲会病院 小児科医長)

13:55～ 一般演題 セッション 1 座長: 松尾 淳司 (北海道大学大学院 保健科学研究院)

1. 菌体外に放出された緑膿菌リポ多糖によるコリスチン抗菌活性の抑制作用

○袴田浩、山本聡、大越康雄、白石宗、小笠原徳子、横田伸一

(札幌医科大学 医学部 微生物学講座)

2. わが国の酪農場におけるバルク乳からのレプトスピラ血清型 Hardjo 抗体の検出

○小西なつこ¹、小島龍成¹、米山修²、村田亮¹、高橋樹史¹、中野良宣¹、
菊池直哉¹

(¹酪農学園大学 獣医学群 獣医細菌学、²ゾエティス・ジャパン)

3. 繁殖豚の尿からのレプトスピラの分離と分離菌の遺伝学的・血清学的解析

○小島龍成、村田亮、菊池直哉

(酪農学園大学 獣医学群 獣医細菌学)

4. ザンビアの牧場から得た仔牛糞便材料中の病原細菌に対する PCR 検索

○磯貝浩¹、磯貝恵美子²、黒田健吾²、鈴木理恵²

(¹札幌医科大学 医学部 動物実験施設、²東北大学大学院 農学研究科 動物微生物学分野)

5. サルモネラ属菌特異的遺伝子のジェノタイプングによる迅速血清型別法の開発

○山崎栄樹¹、竹内薫²、廣井豊子¹、倉園久生¹

(¹帯広畜産大学 畜産衛生学部門、²帯広畜産大学 食品科学部門)

14:45～ 一般演題 セッション 2 座長: 磯貝 浩 (札幌医科大学 医学部)

6. 薬剤耐性大腸菌はイエバエの発育環で維持される

○福田昭、臼井優、大久保寅彦、田村豊

(酪農学園大学 獣医学群 食品衛生学ユニット)

7. 腸球菌の薬剤耐性性状と人為的影響との関係

○大久保寅彦¹、福田昭¹、田中和之²、臼井優¹、田村豊¹

(¹酪農学園大学大学院 獣医学研究科 食品衛生学、²北海道大学 獣医学部 毒性学教室)

8. *Veillonella tobetsuensis* 由来 Autoinducer のバイオフィルム形成に対する影響の解析

○眞島いづみ¹、鎌口有秀²、宮川博史²、藤田真理²、中澤太²

(¹北海道医療大学大学院 歯学研究科、²北海道医療大学 歯学部 口腔生物学系微生物学分野)

9. The inhibitory effect of Roselle extract on the viability, biofilm formation of oral bacteria and cytotoxic effect

○Sulistyani, H., Mashima, I., Fujita, M., Miyakawa, H., Kamaguchi, A., Nakazawa, F.

(Department of Oral Microbiology, School of Dentistry, Health Sciences University of Hokkaido)

10. 子豚糞便から分離された *Clostridium difficile* リボタイプ 078 と欧州で分離された リボタイプ 078 の比較

○臼井優¹、岡健太郎²、高橋志達^{2,3}、浅井鉄夫⁴、稲松孝思⁵、神谷茂³、田村豊¹

(¹酪農学園大学 獣医学群 食品衛生学ユニット、²ミヤリサン製薬株式会社、³杏林大学 医学部 感染症学講座、⁴岐阜大学 連合獣医学研究科、⁵東京都健康長寿医療センター)

15:35～ 休憩

15:45～ 一般演題 セッション3 座長：丹羽 光一（東京農業大学 生物産業学部）

11. 魚病細菌 *Tenacibaculum maritimum* の滑走変異株の単離と解析

○内田大介、秀島悠、楠本晃子、川本恵子

(帯広畜産大学 動物・食品検査診断センター 食品有害微生物分野)

12. 炭疽の制圧を目指した疫学調査と新規ワクチンの開発

○大西なおみ¹、藤倉大輔¹、五十嵐学²、赤松玲子¹、豊間根耕地¹、東秀明¹

(¹北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 感染・免疫部門、²北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門)

13. 比較ゲノム解析から紐解くクラミジアの多様性と進化

○熊谷翔大¹、松尾淳司¹、石田香澄^{1,2}、山崎智拈^{1,2}、中村眞二³、関塚剛史⁴、黒田誠⁴、杉本千尋⁵、永井宏樹⁶、山口博之¹

(¹北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野、²日本学術振興会特別研究員 DC1、³順天堂大学大学院 医学研究科 研究基盤センター、⁴国立感染症研究所、⁵北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、⁶大阪大学微生物病研究所)

14. 原始的なクラミジア *Neochlamydia S13* が共生するアcantアメーバのレジオネラ撃退機序を解明するための基礎的な検討

○黒木靖繁¹、松尾淳司¹、石田香澄^{1,2}、山崎智拈^{1,2}、山根千夏世¹、中村眞二³、関塚剛史⁴、黒田誠⁴、杉本千尋⁵、永井宏樹⁶、山口博之¹

(¹北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野、²日本学術振興会特別研究員 DC1、³順天堂大学大学院 医学研究科 研究基盤センター、⁴国立感染症研究所、⁵北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、⁶大阪大学微生物病研究所)

15. 病原性クラミジアのⅢ型分泌装置新規エフェクターの探索

○山崎智拈^{1,2}、松尾淳司¹、山口博之¹

(¹北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野、²日本学術振興会特別研究員 DC1)

16:35～ 一般演題 セッション4 座長：川本 恵子（帯広畜産大学 畜産衛生学研究部門）

16. *Streptococcus sanguinis* によるマウス樹状細胞ならびにマクロファージの NLRP3 インフラマゾームの活性化

○佐伯歩¹、長谷部晃¹、中澤太²、鈴木敏彦³、柴田健一郎¹

(¹北海道大学 歯学部 口腔分子微生物学教室、²北海道医療大学 歯学部 口腔生物学系微生物学分野、³琉球大学大学院 医学研究科 細菌学講座)

17. マクロファージと樹状細胞への *Candida albicans* による IL-1 β 産生誘導

○長谷部晃¹、佐伯歩¹、杉山正博^{1,2}、亀崎良助^{1,2}、柴田健一郎¹

(¹北海道大学大学院 歯学研究科 口腔病態学講座 口腔分子微生物学教室、²北海道大学大学院 歯学研究科 口腔病態学講座 口腔診断内科学教室)

18. D 型ボツリヌス毒素複合体による小腸上皮の透過性上昇における MAP キナーゼの関与

宮下慎一郎、○丹羽光一、相根義昌、林慎太郎、渡部俊弘
(東京農業大学 食品香粧学科 生物化学研究室)

19. 肺炎クラミジアのⅢ型分泌装置エフェクター CopN は aldolase A と相互作用する

○石田香澄^{1,2}、松尾淳司¹、山口博之¹

(¹北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野、²日本学術振興会特別研究員 DC)

20. 肺炎クラミジアおよびカーボンナノ粒子の共刺激によるマクロファージからの IL-1 β 分泌促進機構

○松尾淳司¹、中村眞二²、山口博之¹

(¹北海道大学大学院 保健科学研究所 病態解析学分野、²順天堂大学大学院 医学研究科 研究基盤センター)

17:25～ 特別講演 2 座長：柴田 健一郎（北海道大学大学院 歯学研究科）

インフラマゾーム活性化と細菌感染：その分子機構から何が見えるか

鈴木 敏彦 先生（琉球大学大学院 医学研究科 教授）

18:30～ 懇親会（札幌医科大学附属病院食堂 地下 1 階）

第2日目：8月30日(土)

09:00～ 一般演題 セッション5 座長：山口 博之（北海道大学大学院 保健科学研究院）

21. Molecular characterization of *Mycobacterium orygis* isolates from wild animals of Nepal

○ Jeewan Thapa¹, Chie Nakajima¹, Bhagwan Maharjan², Ajay Poudel¹, Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Global Epidemiology, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²German Nepal Tuberculosis Project)

22. Predominance of modern sublineage of *Mycobacterium tuberculosis* Beijing family among clinical isolates in Nepal

○ Ajay Poudel¹, Chie Nakajima¹, Bhagwan Maharjan², Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Global Epidemiology, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²German Nepal Tuberculosis Project)

23. Diversity of *Mycobacterium* interspersed repetitive units-variable number of tandem repeats among *Mycobacterium tuberculosis* Central Asian strain family isolates from Nepalese patients

○ Yogendra Shah¹, Ajay Poudel¹, Bhagwan Maharjan², Chie Nakajima¹, Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Bioresources, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²German Nepal Tuberculosis Project)

24. Molecular diversity of *Mycobacterium tuberculosis* Spoligotypes infecting Egyptian Patients

○ Hassan Diab, Chie Nakajima, Yasuhiko Suzuki

Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control

25. Changes in supercoiling activity of *Mycobacterium leprae* DNA gyrase by amino acid substitutions conferring quinolone resistance

○ Tomoyuki Yamaguchi, Chie Nakajima, Yasuhiko Suzuki

Division of Global Epidemiology, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control

09:50～ 教育講演1 座長：山本 聡（札幌医科大学 医学部）

生細胞蛍光イメージング法を用いた細胞生物学研究

北村 朗 先生（北海道大学大学院 先端生命科学研究院）

10:35～ 一般演題 セッション6 座長: 中澤 太 (北海道医療大学 歯学部)

26. Elucidation of *Leptospira* circulation among water buffaloes in an intensive farm setting

○Marvin A. Villanueva¹, Claro N. Mingala², Nina G. Gloriani³,
Yasutake Yanagihara⁴, Chie Nakajima¹, Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Bioresources, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²Animal Health Unit, Philippine Carabao Center, ³Department of Medical Microbiology, College of Public Health, University of the Philippines-Manila, ⁴Department of Bacteriology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

27. Antimicrobial Resistance Profiles, Extended Spectrum Beta-lactamase Producing and Class 1 Integrons in *Escherichia coli* from Healthy Swine

○Kanjana Changkaew, Chie Nakajima, Yasuhiko Suzuki

(Division of Bioresources, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control)

28. Amino Acid Substitutions in GyrA Affects Quinolone Susceptibility in *Salmonella Typhimurium*

○Siriporn Kongsoi¹, Kazumasa Yokoyama², Apinun Suprasert³,
Orasa Suthienkul⁴, Fuangfa Utrarachkij⁴, Chie Nakajima¹, Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Bioresources, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²Central Research Laboratory, Kissei Pharmaceutical Co., Ltd, ³Department of Anatomy, Faculty of Veterinary Medicine, Kasetsart University, ⁴Department of Microbiology, Faculty of Public Health, Mahidol University)

29. Impact of the mutations in DNA gyrase genes on quinolone resistance *Campylobacter jejuni*

○Ruchirada Changkwanyeeun¹, Kazumasa Yokoyama², Hyun Kim³,
Orasa Suthienkul⁴, Chie Nakajima¹, Yasuhiko Suzuki¹

(¹Division of Bioresources, Hokkaido University Research Center for Zoonosis Control, ²Central Research Laboratory, Kissei Pharmaceutical Co., Ltd, ³Laboratory of Tuberculosis, Department of Bacteriology II, National Institute of Infectious Diseases, ⁴Department of Microbiology, Faculty of Public Health, Mahidol University)

11:15～ 教育講演2 座長: 菊池 直哉 (酪農学園大学 獣医学部)

バイオリスク管理の考え方

伊木 繁雄 先生（国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室）

12:00～ 昼食および幹事評議員会

13:10～ 特別講演 3 座長：横田 伸一（札幌医科大学 医学部）

アカデミアにおける創薬の特許戦略

内海 潤 先生

（公益財団法人がん研究会 研究本部 知財戦略担当部長）

14:00～ 総会

14:30～ 日本細菌学会北海道支部会賞表彰

14:40～ 閉会の辞